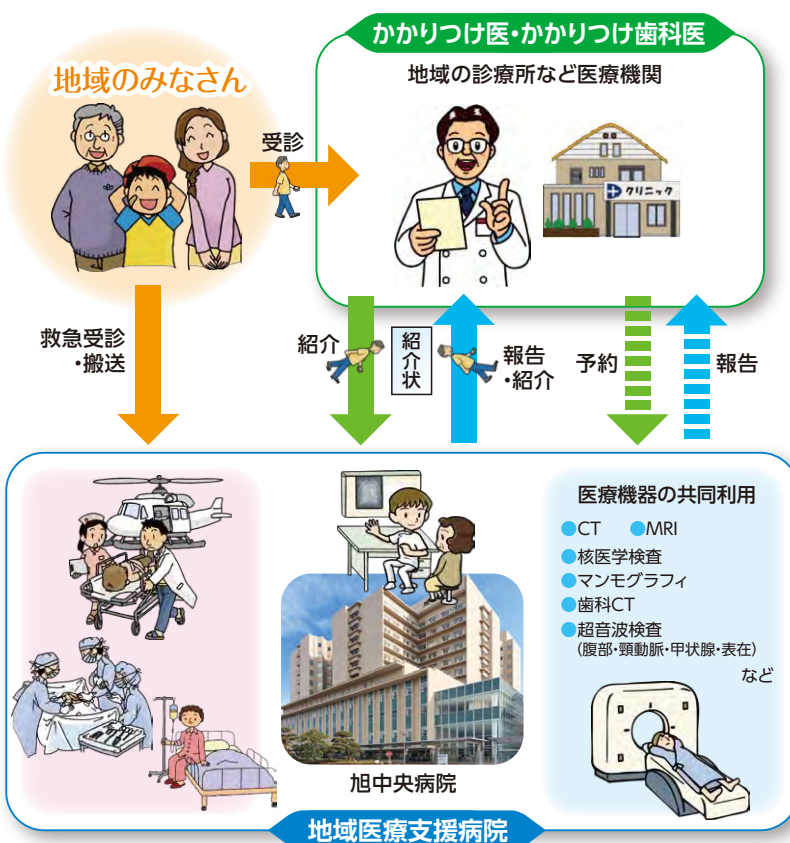


当院は地域医療支援病院として「二人主治医制」を推進しています

「二人主治医制」とは、専門的な診療と総合的な診療をそれぞれ別の主治医が担うことで、二人の主治医が連携しながら患者さんの状態に最も適した医療を提供する、つまり、**患者さんを二人の医師が支える体制**を言います。当院「担当医」と地域の「かかりつけ医」「かかりつけ歯科医」は、それぞれが得意分野を活かして患者さんのために最適な医療を提供します。



基本理念

すべては患者さんのために

私たちは地域の皆さまの健康を守るために、常に研鑽に努め、医学的にも経済的にも社会的にも適正な模範的医療を提供します。



地方独立行政法人

総合病院 国保旭中央病院

www.hospital.asahi.chiba.jp

〒289-2511 千葉県旭市イの1326 TEL.0479-63-8111 (代) FAX.0479-63-8580



お知らせ

- 初診外来受付時間…… [7:45～11:00]
自動受付機は、6:30からご利用いただけます。
- 自動精算機稼働時間… [7:00～20:00]
- 駐車場巡回バス……… [8:30～14:00]

面会制限のお知らせ

感染防止のため、面会（お見舞い）はできません。

家庭で役立つ健康豆知識

血糖値スパイクと大腸ポリープについて

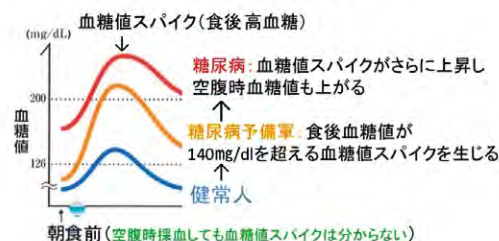
糖尿病は癌、脳梗塞、心筋梗塞、腎臓病など様々な病気を引き起こします。多くは中高年で糖尿病を発症しますが、それよりもずっと以前の若い世代からすでに脳梗塞や心筋梗塞の元である動脈硬化が始まっています。

その原因は血糖値スパイク(食後高血糖)であることが最近の研究でわかりました。血糖値スパイクとは運動不足やスイーツなど糖分の過剰摂取により、食後の血糖値が140mg/dlを超えて急激に上昇する状態です。この状態は糖尿病予備群(境界型糖尿病)と呼ばれ、全国で1000万人ほど罹患しており早ければ20歳代から始まっていると言われています。

さらに当院の研究において血糖値スパイクを有する人は、大腸癌のもとである大腸腺腫性ポリープを健康人よりも高い割合で合併することを報告して参りました。(2018年4月 第115回日本内科学会総会、2018年11月 第26回日本消化器関連学会優秀演題賞受賞、2019年2月 第15回日本消化管学会総会 2020年2月 第16回日本消化管学会総会、2020年8月 第106回日本消化器病学会総会 以上の学術集会で発表)

血糖値スパイクは症状がほとんど無く、通常の検診で行われる空腹時血糖値をいくら血液検査しても分かりません。そのため自分では気がつかないまま、大腸ポリープが発生して悪性化したり、心筋梗塞、脳梗塞などを発症したりする可能性があります。ただ食事と運動療法で病状の悪化を抑えることは可能であり、日常生活をもう一度見直してみてもいいかもしれません。

糖尿病発症までの血糖値の変化



文責 消化器内科 窪田学

旭中央病院附属看護専門学校 オープンキャンパス2022を開催いたします。

当校は、「『感じ、考え、自己を見つめ直せる看護実践者』を命を尊び、人を大切にできる豊かな人間性を育てます」という教育理念のもと、看護を提供できる人材育成を目的としています。看護師になりたいというあなたの夢を、現実化させることができる学校です。

2023年度の入学希望者を対象に、オープンキャンパスを下記の通り実施いたします。

日時: 7月23日(土)・8月20日(土)・9月17日(土)

場所: 旭中央病院附属看護専門学校

対象: 高校生以上、看護に興味や関心のある人

※要事前予約、詳細はホームページで確認してください。

